

## 令和4年度 災害対策本部訓練について

1 訓練実施日 令和4年11月8日（火）午前9時00分～午前12時00分

## 2 参加人数

災害対策本部員・各対策部員		状況付与		その他防災関係機関			
・本部長(市長)	1名	・北海道総務部危機対策課	6名	・陸上自衛隊第72戦車連隊	2名		
・副本部長(副市長、教育長)	2名			・国土交通省札幌開発建設部	1名		
・総務対策部	20名			・気象庁札幌管区气象台	2名		
・支援対策部	10名			・北海道警察千歳警察署	2名		
・経済対策部	9名						
・保健福祉対策部	8名						
・生活環境対策部	11名						
・水道対策部	7名						
・建設対策部	9名						
・避難教育対策部	7名						
・消防部隊本部	12名						
計	96名			計	6名	計	7名
				合計		109名	

※本訓練に併せて、以下を実働として実施

- ①市メーリングリスト登録者に、通信試験としてメールを一斉配信
- ②恵庭市建設業協会との情報伝達訓練として、第1回本部員会議後に電話にて災害対策本部の設置した旨を伝達
- ③北海道総合通信局が所有する移動無線機の貸出輸送訓練として、第2回本部員会議後に無線機貸出を依頼し搬入

## 3 実施場所

- ・第1委員会室 (災害対策本部)
- ・第2・第3委員会室 (総務対策部(本部班)、避難教育対策部、各対策部リエゾン、防災関係機関)
- ・各執務スペース (各災害対策部)

## 4 想定災害 大雪、暴風による雪害

## 5 訓練の目的





- ・災害対策本部員等職員の風雪害対応能力の向上
- ・災害対策本部意思決定と対応能力の向上
- ・防災関係機関等との連携

## 6 訓練方式

- ・ロールプレイング方式(シナリオ非提示)
- ・状況付与者(北海道危機対策課等)と付与された状況に基づく災害対策活動者(職員)に分かれて訓練を実施

## 7 訓練の想定(概要)

日時	生起すると予想される事象等	市・災害対策本部の行動
2月7日(月)	12:00	・島松アメダス地点における積雪深が70cmに到達
		・大雪注意報発表=8日6時までに30~40cmの降雪を予想

2月7日(月)	13:00		【除雪に係る庁内連絡調整会議】 ・ 所要事項について協議
	17:00	・ 風雪注意報発表＝平均風速 15m を予想 早期注意情報＝8日6時以降大雪警報「高」予想	【レベル2】
	20:00	・ 積雪深が 80cm に到達、引き続き積雪増加中(大雪注意報及び風雪注意報継続中)	
	21:00		・ 除雪開始
	22:00	・ 深が 84cm に到達、引き続き積雪増加中 (大雪注意報及び風雪注意報継続中)	レベル3 【災害警戒本部設置】
2月8日(火)	05:00	・ 積雪深 100cm に到達、引き続き積雪増加中(大雪注意報及び風雪注意報継続中)	【災害対策本部設置】
	06:00 (09:00)	(この時点の積雪深 110cm) ・ 除雪、ごみ回収等に対する市民からの問い合わせ多数 	【第1回本部員会議】 ・ 除雪進捗状況及び今後の気象情報に基づく処置・対策について協議 
	08:00 (10:00)	・ 大雪警報発表:9日6時までに 50cm の降雪を予想 ・ 積雪深 117cm に到達、引き続き積雪増加中(風雪注意報継続中)	レベル4
	08:10 (10:05)	・ 火災・救急、事故等に関する通報多数。	【第2回本部員会議】 ・ 市内の状況について認識を共有するとともに、大雪警報発表に伴う処置事項と更なる積雪増加への対応について協議 
	10:30 (11:15)	・ 積雪深 130cm に到達、引き続き積雪増加中 ・ 8日夕方までに暴風雪警報に切り替える可能性が高い風雪注意報発表 ・ 早期注意情報＝8日12時から18時及び8日18時から9日6時の暴風雪警報の可能性「高」 →上記情報について、気象台からホットラインにより通報	
	11:00 (11:30)	気象台担当者リモート参加 	【第3回本部員会議】 ・ 早期警戒情報(暴風雪)に基づき暴風雪への対応準備について協議 
15:00	・ 積雪深 140cm に到達、引き続き積雪増加中 ・ 暴風雪警報発表＝平均風速 20m を予想		

※上記、日時の各時間の( : )内の時刻は、訓練での進行時刻

## 8 今後の方向性

本訓練を通じて、各対策部等職員が大雪に対する各種対応等に対して、様々な確認や今後の気象予想により、これらに影響する各種事象を捉え、迅速、柔軟な対応判断を得た訓練となりました。今後、来年度の総合防災訓練に向けて、さらなる防災力の向上に繋げていくもの。